

イ B校の実践（第3学年）

(ア) 意識調査を基にした分析

日々の授業を「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的に改善をするために、B校の第3学年の生徒の実態を把握する必要がありましたので、6月に意識調査を行いました。

- ・「社会の勉強は好きだ」と、88.5%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業の内容はよく分かる」と、88.5%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分で調べたり、考えたりすることをはっきり分かって学習している」と、88.5%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と、93.1%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思う」と、67.8%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う」と、92%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分が調べて分かったことや考えたことを基に話し合っている（討論している）」と、77%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と、87.4%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で扱うノートやワークシートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う」と、95.4%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、調べて分かったことや考えたことを自分でまとめ、ノートやワークシートなどに書いている」と、88.5%の生徒が回答しました。



上記のような意識調査の結果から、社会科の授業が好きで授業の内容もよく分かり、調べたり考えたりすることをはっきり分かって学習できている、発表する機会も多く与えられていると思っている生徒がとても多いことが分かりました。また、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思っている生徒も 87.4%と多かったです。しかし、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思っている生徒も、67.8%いることが分かりました。

以上のことから、話し合う活動によって自分の考えが深まるということを感じている生徒が多いものの、話し合う活動を行う前の段階である自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることに課題が見えました。

(イ) 7月の実践

この生徒の実態を踏まえながら「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリストを用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料1）。まずは、「課題把握」の項目の「生徒とともに単元を貫く学習課題を設定していない」、「単元の見通しを持たせていない」、[課題追究]の項目の「複数の資料を基に多面的・多角的に考察させていない」、[課題解決]の項目の「結論について他の生徒と話し合わせていない」ことについて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表から必要と思われる手立てを選択しました（資料2）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時の学習課題を設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元を貫く学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題についてノートやワークシートなどにまとめさせている	✓	C②③
生徒と共に単元を貫く学習課題を設定している		A③	複数の資料を基に多面的・多角的に考察させている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している	✓	C④
単元の見通しを持たせている		A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら話し合わせている	✓	B⑤	結論について他の生徒と話し合わせている		C⑤⑥
予想や仮説を立てさせている		A⑤	複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させている		B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い(課題)を見いださせている		C⑦

資料1 7月のB校第3学年の教師の指導の自己評価

	課題把握		課題追究		課題解決 新たな課題	
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ●学習課題を設定する ・社会的事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決の見通しを持つ ・予想や仮説を立てる ・学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ●予想や仮説の検証に向けて調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の生徒と情報を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する ・多面的・多角的に考察する ・話し合う(討論等) ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ●考察したことや構想したことをまとめる ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について、他の生徒と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返って考察する ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時の学習課題を設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いを持たせ、<u>単元を貫く学習課題を設定する</u></p> <p>A③ テレビのニュースや新聞等を活用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、<u>ゴールをイメージさせる</u></p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージさせる</p>		<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から考えさせる</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモさせる</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる</p>		<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめさせる</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示させノートやワークシートにまとめさせる</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返らせる</p> <p>C⑤ 結論についてグループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめさせる</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげる</p>	

資料2 7月のB校第3学年の教師の指導の自己評価を踏まえて取り入れた手立て

〔課題把握〕について、「生徒と共に単元を貫く学習課題を設定していない」ことについては、前頁資料 2 の A③の「テレビのニュースや新聞等を活用した身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する」の手立てを、「単元の見通しを持たせていない」ことについては、A④の「学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、ゴールをイメージさせる」の手立てをそれぞれ取り入れることにしました。〔課題追究〕について、「複数の資料を基に多面的・多角的に考察させていない」ことについては、B⑥の「グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる」の手立てを取り入れることにしました。〔課題解決〕について、「結論について他の生徒と話し合わせていない」ことについては、C⑤⑥の手立てがありますが、本単元ではC⑥の「問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる」の手立てを取り入れることにしました。

これらの手立てを取り入れて、以下のように授業の質的改善を図りました。

単元名 「私たちの生活と文化について考えよう」(帝国書院 pp. 12-17)

- ・文化についての身近な例を挙げ、生徒に発表させて問い返しをしながら、生徒とともに、多様な考えが出せるような単元を貫く学習課題を設定する。【A③】
- ・単元を貫く学習課題を設定した後、ゴールをイメージさせるためにワークシートに学習計画と評価規準を示し、評価に関心を持たせて意欲を高め、単元の見通しを持たせる。【A④】
- ・電子黒板を活用して、資料を提示したり動画を見せたりすることで学習への関心を高め、それらを基に根拠を示して自分の考えを記述させる時間を設定する。その後にグループで意見交換をさせて、自分の考えを深めさせる。【B⑥】
- ・学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる手立てとして、ワークシートに〔ご家庭や知人の方々からのご感想・ご意見〕の欄を設ける。【C⑥】

単元の指導計画

過程	主な学習活動	教師の働き掛け (○)、手立て (◆)	時配
課題把握	○文化という言葉から連想するものを思いつく限り発表しながら、教師とやり取りをする中で、単元を貫く学習課題を設定する。	◆自由に発表させながら、発表内容ごとに「生活様式」、「宗教」、「芸術」、「化学技術」に分類した。ただし、分類名は伏せておいた。 【A③】	0.5
	○単元を貫く学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	◆ワークシートに単元計画と評価規準を示し、単元の見通しと評価に関心を持たせた。 【A④】	
	〔単元を貫く学習課題〕 あなたが世界に広めたい日本の文化とは		

<p>課題追究</p>	<p>○教科書の内容をまとめたワークシートに取り組み、基本的な語句を理解する。</p> <p>○映像資料を見て、世界の文化と日本の文化について地理的分野の既習事項を振り返る。</p> <p>○グローバル化と文化との関りについての映像資料を見て、日本の文化の広まりと新たな文化が生み出されていることを理解する。</p>	<p>○個人での教科書を用いた調べ学習を行い、基本的な語句をまとめさせた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆NHK for school の関連動画を見せ、学習への関心を高めて既習事項を確認させたり、海外で開かれる日本文化の博覧会を報道したニュース映像を見せたりしてグループで考えさせた。 【B⑥】</p> </div>	<p>2</p>
<p>課題解決</p>	<p>○学習のまとめとして、単元を貫く学習課題に対する自分の考えをワークシートにまとめる。</p> <p>○記入したワークシートを身近な大人に読んでもらい、意見を聞く。</p> <p>○完成したワークシートを基に、グループ内で意見交換をし、単元の学習を振り返る。</p>	<p>○ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示して、考えを書かせた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆身近な大人の見解に触れることで、多様な考えがあることに気付かせた。 【C⑥】</p> </div>	<p>1.5</p>

成果と課題

【成果】

- ・身近な例を挙げ、生徒に発表させて問い返しをしたことで、単元を貫く学習課題の設定につなげることができました。
- ・単元を貫く学習課題を設定した後、ワークシートに学習計画と評価規準を示したことで単元の見通しを持たせ、ゴールをイメージさせることができました。
- ・動画を見せたことで、文化に対するイメージが持ちやすくなり、グループでの意見交換も活発になった。その後、まとめの際には自分の考えを自分なりの根拠を示して記述することができていました。
- ・ワークシートに「ご家庭や知人の方々からのご感想・ご意見」の欄を設けたことで、大人の見解や考えを聞くことができ、自分たちの生活につなげて考えるきっかけにすることができました。

【課題】

- ・自分の考えを相手に伝えたり聞いたりすることはできたが、単元を貫く学習課題が焦点化できていなかったために意見交換したにとどまり、互いの考えを深めることにつながりませんでした。

(ウ) 9月の実践

7月の実践の成果と課題を振り返って、生徒の実態を踏まえながら「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリストを用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料3）。7月の実践で成果のあった教師の手立てを継続して取り入れ、課題が残った〔課題把握〕の項目の「生徒と共に単元を貫く学習課題を設定していない」、〔課題追究〕の項目の「複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させていない」、新たに〔課題把握〕の項目の「予想や仮説を立てさせていない」ことについて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表から必要と思われる手立てを選択しました（資料4）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時の学習課題を設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元を貫く学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題についてノートやワークシートなどにまとめさせている	✓	C②③
生徒と共に単元を貫く学習課題を設定している		A③	複数の資料を基に多面的・多角的に考察させている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している	✓	C④
単元の見通しを持たせている	✓	A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら話し合わせている	✓	B⑤	結論について他の生徒と話し合わせている		C⑤⑥
予想や仮説を立てさせている		A⑤	複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させている		B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い(課題)を見いださせている		C⑦

資料3 9月のB校第3学年の教師の指導の自己評価

	課題把握		課題追究		課題解決 新たな課題	
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ●学習課題を設定する ・社会的事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決の見通しを持つ ・予想や仮説を立てる ・学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ●予想や仮説の検証に向けて調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の生徒と情報を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する ・多面的・多角的に考察する ・話し合う(討論等) ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ●考察したことや構想したことをまとめる ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について、他の生徒と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返って考察する ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時の学習課題を設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いを持たせ、単元を貫く学習課題を設定する</p> <p>A③ テレビのニュースや新聞等を活用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、ゴールをイメージさせる</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージさせる</p>		<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から考えさせる</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモさせる</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる</p>		<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめさせる</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示させノートやワークシートにまとめさせる</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返らせる</p> <p>C⑤ 結論についてグループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめさせる</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげる</p>	

資料4 9月のB校第3学年の教師の指導の自己評価を踏まえて取り入れた手立て

〔課題把握〕について、「生徒と共に単元を貫く学習課題を設定していない」ことについては、前頁資料 4 の A③の「テレビのニュースや新聞等を活用した身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する」の手立てを、「予想や仮説を立てさせていない」ことについては、A⑤の「学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、ゴールをイメージさせる」の手立てをそれぞれ取り入れることにしました。〔課題追究〕について、「複数の資料を基に多面的・多角的に考察させていない」ことについては、B⑥の「グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる」の手立てを取り入れることにしました。

これらの手立てと、7月に実践して成果のあった手立て（A④、C⑥）を継続して取り入れ、以下のように授業の質的改善を図りました。

単元名 「日本国憲法について考えよう」（帝国書院 pp. 32-41）

7月の実践の課題を受けての教師の手立て

- ・ 7月の実践の反省から身近な例を挙げるだけでなく、テレビのニュースや新聞記事等を活用して課題を焦点化し、問い返しをしながら生徒と共に単元を貫く学習課題を設定する。【A③】
- ・ 学習課題解決に向けて、電子黒板やワークシートを活用しながら見通しを持たせ、学習課題について予想を立てさせることでゴールをイメージさせる。【A④⑤】
- ・ グループ活動を継続して仕組み、複数の資料を基に根拠とした自分の考えを伝えさせたり、相手の考えを聞いたりさせることで多面的・多角的に考えさせる。その後、ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示して、自分の考えを他の生徒の意見と比較、関連させて記述させる。【B⑥】

単元の指導計画

過程	主な学習活動	教師の働き掛け（○）、手立て（◆）	時配
課題把握	<p>○北朝鮮のミサイル発射問題の時事を基に、関係国のつながりについて整理する。</p> <p>○自衛隊の活動内容について、ニュース動画を見る。</p> <p>○単元を貫く問学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。</p>	<p>◆北朝鮮のミサイル発射問題に関するテレビのニュースや新聞記事等を基に、関係国の首脳や日本の置かれている状況について関心を持たせた。【A③④】</p> <p>◆日本が、災害派遣をしている一方、国防に関する活動も行っていることや、日本国憲法における自衛隊の法的根拠が曖昧なことに気付かせ、学習課題解決に向けての予想を立てさせた。【A⑤】</p>	1
<p>〔単元を貫く学習問題〕 今後、日本は憲法9条をどうすべきか 維持か改憲か</p>			

<p>課題追究</p>	<p>○多数決の原理と民主政治の歩みについて、基本的な用語をワークシートにまとめる。</p> <p>○日本国憲法と私たちの生活にどのような関わりがあるかをワークシートにまとめる。</p> <p>○国民主権と憲法改正について、ワークシートにまとめる。</p> <p>○平和主義と自衛隊の役割、歴代内閣の自衛隊に対する考え方について、ワークシートにまとめる。</p> <p>○憲法改正に関する時事を紹介し、単元を貫く問いに対する資料を読み取る。</p>	<p>◆なぜ、人の支配ではなく法の支配の方が人々にとって重要なのか、図版資料を基にグループで話し合っ て考えさせた。【B⑥】</p> <p>◆憲法が、国家と国民に果たしている役割は、どのようなものがあるのかをまとめさせた。【B⑥】</p> <p>◆憲法改正までの流れを、学習した内容を基にまとめさせた。【B⑥】</p> <p>◆自衛隊に関する規定が憲法にないことを確認させ、憲法違反か否かをグループで話し合っ て考えさせた。【B⑥】</p> <p>○自分の考えの基になる根拠を複数の資料の中から選び、メモをさせた。</p>	<p>5</p>
<p>課題解決</p>	<p>○維持と改憲に分かれてグループをつくり、話し合いながら、ワークシートに示した書き方に合わせて意見をまとめる。</p> <p>○学習のまとめとして、単元を貫く学習課題に対する自分の考えをワークシートにまとめる。</p> <p>○記入したワークシートを身近な大人に読んでもらい、意見を聞く。</p>	<p>◆ワークシートに合わせた書き方の小項目ごとに考えをまとめさせた。【C⑥】</p> <p>○評価規準とワークシートに合わせた書き方を示して記述させた。</p> <p>◆身近な大人の見解に触れることで、多様な考えがあることに気付かせた。【C⑥】</p>	<p>2</p>

成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な例を挙げるだけでなく、テレビのニュースや新聞記事等を活用して課題を焦点化し、問い返しをしながら現実生活に沿った単元を貫く学習課題を設定できました。 ・電子黒板やワークシートを活用しながら見通しを持たせて予想を立てさせたことで、単元を貫く学習課題の解決に向け、ゴールをイメージさせて学習活動に取り組ませることができました。 ・グループ活動では、複数の資料を根拠とした自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら発表原稿を作成し、グループの意見としてお互いの考えを深め合うことができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用意した資料の中に難しい語句があったため、自分の考えを他の生徒の意見と比較、関連させて表現できていない生徒が見受けられたので、生徒の実態に合わせた資料の吟味が必要でした。
